

部 長

各事務局長

市 長

令和3年度予算編成方針について

我が国の経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大により、極めて厳しい状況に置かれており、十勝・帯広においても、個人消費や観光需要などが落ち込んでいるほか、市民生活をはじめ様々な分野に感染症の影響が及んでいる。こうした状況を踏まえ、我々は、感染拡大防止と社会経済活動の両立をはかりながら、感染症収束後の未来を見据え、まちづくりを進めていかなければならない。

そのためには、「新たな日常」を意識しながら、情勢の変化にしっかりと対応し、各施策を着実に進めていくとともに、地域の強みや魅力を活かした「フードバレーとまち」の取り組みなどを通して、まちの活力を高めていくことが重要である。また、今後も社会保障費の増加が見込まれることに加え、感染症の影響などに伴い、歳入面での制約が強まり、更なる財政の硬直化が懸念されることから、改めて行政の役割や事業のあり方を見つめ直し、新たな発想も取り入れながら、事業の見直しを進める必要がある。

令和3年度予算編成においては、こうした考えのもと、公約の実現や、様々な行政課題の解決に向け、3つの重点を設定する。

各部においては、中長期的な視点をもって、限られた予算の中で最大の効果が得られるよう、予算を編成されたい。

記

1. 予算編成における重点

- (1) 持続可能で活力ある地域経済をつくる**
- (2) 新しい未来を切り拓くひとをつくる**
- (3) 安心して日常を過ごせるまちをつくる**